



令和3年度 清水小学校だより

令和3年6月30日発行

# 清水の子

文責 校長 沖島 宏幸

しっかり考える子 ・ 自らよく行う子 ・ すこやかな子

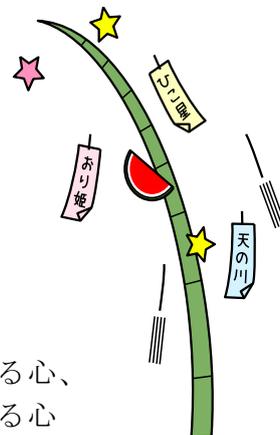
## 輝く星のように

五色の短冊 私が書いた お星様きらきら 空から見てる

7月7日は七夕、五色の短冊にたくさんの願いを書き、笹に付けて軒先に立てる。なんと夢とロマンのある行事でしょう。子どもの心には、夢とロマンをもたせたいものです。特に「心の教育」の重要性が叫ばれている今日だからこそ必要です。

七夕に限らず、いつでも、誰にでも、自分の気持ちを素直に表現できる心、また、夢や希望を常にもって、その夢や希望を実現させるために努力する心を育てることが大切だと思います。そして、夢や希望を実現するために努力する姿こそが、自分を高めることであり、空で輝く星のように自分を輝かせることになると教えるのが大事だと思います。

明日から7月。いよいよ前期前半の最後の月となりました。今後とも心豊かな子どもたちの育成を目指し、全職員一丸となり取り組んでいきますので、ご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。



## 心の中に「花さき山」を



「花さき山」というお話（絵本）をご存じの方も多いと思います。斉藤隆介さんの作で、それを滝平二郎さんが見事な切り絵で表した本です。一つよいことを、優しいことをすると、一つの花が咲く。一つの優しさが花となり、山全体を覆う。

主人公のあやの妹のそよが、祭りの赤いべべを欲しがって泣いたとき、あやは、「おっかあ、おらは いらねえから、そよサ かってやれ」と泣く妹と貧しい家のことを思い、自分は辛抱したのだ。そのとき、山に赤い花が咲いた。あやの切ない思い。しかし、その切なさには母や妹への優しさであり、山に咲いた赤い花は、どんな祭りの着物より美しく、あやの心そのものなのです。

本校の目指す児童像に、「自らよく行う子」や「すこやかな子」があります。これは、みんながなかよく、やさしさいっぱいであることを目指しています。

「なかよく」とは、自分を取り巻く全ての人との「優しさ」のふれあいであり、心と心の結びつきです。「元気に挨拶」もその一つと考えています。本校では、毎日挨拶が広がる学校を目指しています。

先日、お客さんが見えられたとき、「こんにちは！」と、とても元気に挨拶をしている姿を見ることができました。「おお、花さき山に、また一つ花が咲いたぞ。」思わず心の中でつぶやきました。

[裏面もあります。ご覧ください。]

## 7月の主な行事予定

- 1日(木) 体重測定(1年)
- 2日(金) 体重測定(2年)
- 5日(月) 体重測定(6年) 家庭学習チェックカード取組週
- 7日(水) 体重測定(5年) クラブ活動
- 8日(木) 体重測定(4年)
- 9日(金) 体重測定(3年)
- 20日(火) 前期前半終了日 全校朝会
- 26日(月) 保護者個人面談(30日まで)

○ あくまでも、現時点での予定です。変更がある場合は、お知らせします。



### 学習効果をより上げるために



本校では、学校で学んだ基礎的・基本的な学習をしっかり定着させるため「家庭学習」はとても大切なものであると考えています。学年の発達段階に応じて宿題や自主学習が出されていると思いますが、子どもたちの取り組み状況はいかがでしょうか？

さて、家庭学習に取り組む際の大事な要素として、環境(時間、場所)があります。

時間は、できれば夕食前までに終わらせることが望ましいのですが、家の手伝いや遊び、あるいは塾や習い事なども考えて、各ご家庭で時間を決めておくとういのではないのでしょうか。

場所は、どこで学習するのがよいということは一概には言えません。親の目の届く所、静かで集中できる所といった条件を考慮したうえで、場所を決めて行うことが家庭学習の習慣化には大切だと考えています。

また、学習でわからないところが必ず出てきます。宿題のやり方がまだ身に付いていない低学年は、特に積極的に大人が関わってあげる必要があります。ていねいに関われば関わるほど、子どもは伸びます。

テレビの存在も学習への影響が大きいです。 「ながら勉強」をしていませんか？集中して学習に取り組むには、テレビを消して、落ち着いた静かな環境で取り組ませてください。

学校でも、子どもが安心して落ち着いた静かな環境のもとで学習できるように心掛けてまいります。

7月5日の週は、「家庭学習チェックカード取組週」です。どうぞご協力、よろしく願います。